

11601電気業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	9 ～ 10	お客様宅訪問のため、会社構内に駐車してある社有車に乗車しようと事務所から出て歩行中、圧雪状態の場所で左足が滑り、倒れないように踏ん張ったところ、雪の切れ間のアスファイルと露出部分に引っ掛かり足首をひねった。	43	2	417	10 ～ 29 人
2	2018	1	10 ～ 11	自社工場にて、歩廊製作作業中、工場内の天井クレーンで歩廊を重ねていたところ、荷崩れを起こし、落ちてきた歩廊で右手を挟んだ。	38	7	224	50 ～ 99 人
3	2018	2	11 ～ 12	自走式破碎機上部の点検作業中、重機から降りようとしたところ、重機を停止しなかったため、左足を稼働中の送り床に乗せてしまい巻き込まれた。	32	7	229	30 ～ 49 人
4	2018	4	10 ～ 11	ボックスカルバート内のゴミ除去のため、グレーティングに乗ったところ、グレーティングごと落下し、肩にグレーティングが当たり、骨が折れてしまった。	70	1	418	1～ 9人
5	2018	5	16 ～ 17	屋上での作業を完了し、はしごを下りる際に屋上に溜まっていた水溜まりで安全靴と皮手袋が濡れていたこともあり、はしごから手が滑りバランスを崩したところ、隣接ビルの窓格子に左腕が引っ掛かり裂傷を負った。	46	2	371	100 ～ 299 人
				建物1階屋根上での引き込み機の撤去作業で、建物から引き込み線				50

6	2018	5	9 ～ 10	を取り外した瞬間、想定以上の力が働き、保持していた引き込み線に引っ張られた。被災者は、駐車車両に引き込み線が当たらないようにしようとしたが、保持しきれずバランスを崩したため、自ら飛び降り、左足を負傷した。	51	1	415	～ 99 人
7	2018	6	14 ～ 15	定期調査で分電盤の点検中に、踏み台が動いたためバランスを崩して転倒し、左坐骨骨折・左環指中節基部骨折・第2腰椎圧迫骨折を負った。	68	1	371	30 ～ 49 人
8	2018	7	8 ～ 9	場内通路脇の空地で、プラスチック容器に消火栓から消防ホースを使って水を溜めていたとき、消防ホースの勢いにより、体のバランスを保てなくなり地面に転落し、左頬裂傷及び頸椎骨折を負った。	59	1	419	1～ 9人
9	2018	7	15 ～ 16	事務所での打ち合わせ後、PC作業を始めたものの右手のタイピングが上手くいかず、席を立った際、後方によろめき、右半身の麻痺が強くなった。	46	90	921	100 ～ 299 人
10	2018	11	15 ～ 16	国道を走行中、横断歩道で歩行者を発見し、停止線手前で停止したところ、後続車に追突された。	23	17	231	100 ～ 299 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。